

国際高の姉妹校
TUINS High School Sister School Network



Daejeon Foreign Language
High School
Seo-gu, Daejeon, South Korea



King Ling College
Tseung Kwan O, Hong Kong



Chesterton High School
Chesterton, Indiana, the United States of America



Lu He High School
Tongzhou District, Beijing, China



Strisrinan School
Wiang Mueang, Nan Nn, Thailand



Pratumnuk Suankularb School
Pranokorn, Bangkok, Thailand



Bishop Druitt College
Coffs Harbour, New South Wales, Australia



Hills Educational Foundation
Jimboomba, Queensland, Australia



Pakuranga College
Half Moon Bay, Auckland, New Zealand



「ユネスコスクール」に認定された、富山県初の高校です。

ユネスコスクールは、ユネスコ憲章に示された、「平和や国際的な連携を、学校での実践を通じて促進すること」を目的に設けられました。国際高の取り組みが認められ、富山県初のユネスコスクールとして、2012年に認定されました。



WEBサイトも
CHECK!

より豊かで楽しいスクールライフのために
いろいろな情報を載せています。

<https://www.tuins-h.ed.jp/>

富山国際高校



〒930-0175 富山市願海寺水口444番地
TEL 076-434-0577 FAX 076-434-1974
E-mail info@tuins-h.ed.jp



UNESCO Associated School

ToyamaKokusai

Toyama University of International Studies HIGH SCHOOL

令和8年度 入学案内



グローバルな視点で
未来を創造しよう。

Be a Global Citizen!



富山国際大学 付属 高校



ユネスコスクール



Be a Global Citizen!

「KoKuSalの仕掛け」で
「KoKuSalの資質」を育てる

21世紀型学力

「分析 → 問題発見 → 解決 → 発信」する力

グラデュエーション・ポリシー

目指す力 「KoKuSalの資質」を育てる

Ko 課題解決力
Ku コミュニケーション能力、行動力
Sa しなやかな心(寛容性と対応力)
I 異文化理解と多文化共生力

カリキュラム・ポリシー

国際高といえばICT教育と国際教育

育成する力

批判的思考力

世の中のことを自分事として
捉えて批判的に考察する

考え抜く姿勢

問題を解決するための独自の
意見や考えを形成する

実践力

考えを発言し、他者との関係を
形成し、協働して実現する

Ko 教科学習、課題研究 **Ku** 課外活動、国際交流
Sa SDGsの視点に立った日常的な思考活動 **I** ICT教育

「KoKuSalの仕掛け」で

アドミッション・ポリシー

求める生徒像

- ・知的好奇心が旺盛な生徒
- ・地球規模の諸問題に興味がある生徒
- ・国際的に活動したいと思う生徒

目指すのは、21世紀型学力を
身に付けたグローバルリーダー。

国際高について 1-2

カリキュラム
進学実績・SDGsと課題探究 3-4

国際英語コース 5-6

特進コース 7-8

フロンティアコース 9-10

国際交流プログラム
国際交流実績 11-12

部活動 13-14

学校生活 15-16

校舎ガイド 17-18

ICT教育 19-20

アクセス
国際高の1日・学園内併設校 21-22

国際高はSDGsへの取組みを実践し、グローバルな
視点を身につけ、「新・国際人」として新しい扉を開きます。

SDGs(Sustainable Development Goals)とは、持続可能な開発目標のことです。国連
サミットで193すべての加盟国が合意した、2030年までに達成すべき課題とその具体目標を
定めたものです。国際高でも生徒自身がSDGsに意識的に取り組んでいます。エントランスに
設置されているSDGsパネルの17の目標の下には、国際高の取り組み目標が示されており、
SDGsをより身近な「自分事」として捉え、実践してほしいという願いが込められています。

学校目標について
詳しくはこちら▶
国際高Webサイト



国際高は富山県の高校で
唯一のユネスコスクール

* 2012年認定



未来を生きる力を育てるICT教育。
学びを支える最新の設備と環境が整っています。

生徒・先生全員がiPadを積極的に授業で活用しています。

* タブレット購入のための奨学金制度もあります。

詳しくは別紙募集要項の「ICT教育促進のための奨学金制度」をご覧ください。



全校生徒約900名が同時接続可能な高速Wi-Fi環境が整っています。

未来の夢をつかむ、3つのコースがあります。

国際英語 コース

英語で自己表現できるコミュニケーション能力を
身につけ、“真の国際人”をめざすコース

特進 コース

独自のカリキュラムで国公立大学や難関私立大学への
現役合格をめざす精鋭コース

フロンティア コース

基礎学力を重視し、自ら学び多様な進路や人生を
開拓する人材を育むコース



国際英語コース

International English Course

英語は「学ぶ」ものではなく、
「身につける」もの。

国際英語コースの特長

英語特進 クラス

英語が大好き！
海外に興味がある人のクラス

3年間で国際的な視野を身につけた生徒を育成し、国際関係分野の国公立・難関私立大学進学に向けての指導を行います。また海外で英語に直接触れることでコミュニケーションの幅を広げ、幅広く異文化を理解する機会を提供します。

- 1年次に2～3週間週間のアメリカ英語研修に参加
- 2年次に韓国で2週間の英語研修に参加
- 年間10回程度の国際理解講座を受講

留学特進 クラス

県内でただ1つ！
長期留学者のためのクラス

1年次の2～3週間にわたるアメリカ英語研修を経て、2年次に海外の高校に1年間の留学。帰国後はそのまま3年生に進級（3年間で卒業できます）。留学経験を活かし、国際関係や語学系の国公立・私立大学、海外の大学など幅広い分野への進学が可能です。また留学奨学生制度※もあり、留学へのバックアップも万全です。※要項参照



オンライン会議で姉妹校と交流

英語の楽しさを 国際高で実感しよう。

英語で自己表現できる実力を養う。

そんな「発信型英語能力」をしっかりと身につけることができる国際英語コース。
英語を通して世界に視野を広げ、留学や進学の夢を叶えるために、国際高ならではの
カリキュラムや留学生との交流など、特色ある環境で「生きた英語」を幅広く学びます。

卒業生からの メッセージ

国際英語コース・英語特進
堂川 芽生
お茶の水女子大学/文教育学部
芝園中学校出身



国際高校の国際英語コースでは、他の学校では得られない貴重な学びがあります。海外研修や姉妹校交流を通じて異国の文化に触れ、国際理解講座やボランティア活動を通じてさまざまな職業の人々と関わることで、新たな知識を得る機会が豊富です。これらの経験を通して視野が広がるだけでなく、自分自身を深く理解するきっかけにもなります。

私は、1年次の国際理解講座で日本の芸術の歴史と独自の美しさに触れ、アメリカでの語学研修では異なる芸術文化を間近で観察しました。この経験を活かし、人生で初めてスピーチコンテストに挑戦しました。もともと人前で話すことや、自分の考えを言葉にすることが苦手でしたが、国際高校の先生方の手厚いサポートを受けて、一歩踏み出す決意をしました。初めてのスピーチコンテストでは緊張して思うように話せませんでしたが、先生方は私の挑戦を温かく見守り、次の挑戦をサポートしてくれました。

その後もプレゼンテーションコンテストやディベート大会などに挑戦し、積極的に意見を発信することで、入学前と比べて大きく成長できたと実感しています。こうした経験の積み重ねによって、私は第一志望の大学に合格することができました。大学では、国際高校での経験を基に、「外国にルーツを持つ子どもの支援」という目標に向かって邁進したいと考えています。

国際高校で過ごした3年間で得た経験は、高校や大学にとどまらず、これからの人生にも大きな影響を与えると確信しています。変わりたいと思っている皆さんが、国際高校での3年間を通じて自信を持ち、新たな挑戦ができることを心から願っています。

国際英語コース・留学特進
本江 瑠華
金沢大学/人間社会学域
南星中学校出身



国際英語コースでの3年間は、世界に対する視野を大きく広げ、自分の考えを持って行動する力を養うチャンスにあふれています。卒業した今、それを実感しています。

グローバルスタディーズの授業では、世界の社会問題について学び、考えを深めることができました。国際色豊かなクラスメートと行ったディスカッションやプレゼンテーションでは、英語で意見を伝え合うことで新たなアイデアや解決策を生み出す楽しさを知りました。また、5日間の英語漬けのエンパワメントプログラムやアメリカ研修では生きた英語に触れ、もっと自分の英語力を高めたいという強い意欲が湧きました。

2年次には、カナダへの長期留学に挑戦しました。様々な国籍の学生と授業を受けたり、ホームステイを経験したりする中で、英語力だけでなく、多様性や異文化を尊重することの重要性を実感しました。また、現地でのボランティア活動を通して、異なる年齢や国籍の人々と触れ合い、自分の将来について考える貴重な機会となりました。カナダでの経験は、私に「挑戦する勇氣」と「広い視野」を与えてくれました。帰国後は、日本の多文化共生社会実現に貢献したいという目標を持ち、金沢大学国際学類への進学を決意しました。

この3年を振り返ると、「知り、考え、行動する」ことの大切さを学んだと感じています。先生方の温かく手厚い指導や仲間との絆、そして留学という貴重な経験を通して、自分の未来に向けて大きな一歩を踏み出すことができました。

国際英語コースでは、グローバルな視点で自分の興味を追求する機会が豊富にあります。この3年間は、「新しい自分に出会える時間」となるでしょう。学習だけでなく、将来につながる貴重な経験が詰まった高校生活を過ごしてください。

在校生からの声 国際高のおすすめ /



福岡中学校
出身

国際高校のいいところは**国際交流が盛ん**であるところです。ホームステイを受け入れたり姉妹校に訪問できたりします。実際に自分も韓国とニュージーランドからの生徒を受け入れました。
短期間ではあるけど友達と有名な観光地に行ったり、外国の友達といろんな楽しい経験ができます。外国人の友達は普通に過ごしているとそう簡単にできるものではないけど、これらの経験や、長期留学として学校に通っている生徒と交流したり、**たくさんの外国の友達を作ることができます！**



小杉中学校
出身

国際高には**留学プログラム**があります。海外からの留学生を受け入れているので、ネイティブの人と話したい、海外の文化について聞きたいという人にとってはチャンスになります。

保護者からの声



R6年度卒業生 奥原 旭祐
上智大学 外国語学部 英語学科 / 小杉南中学校出身
保護者 奥原 恒治 さん

息子は高校留学を経て大学に進学したいという思いがあり、国際大付属高校を選びました。ただ、志望大学は入学時点では決まっておらず、第一志望として上智大学を意識したのはそれほど早くなかったように思います。両親ともに推薦入試をよくわかっていない上に、受験する大学の英語資格試験の基準をクリアできるのかという心配もありました。

親としては大学受験のことが常に気になっていましたが、**3年間を通して感じたのは、この高校で与えられる様々な教育機会には無駄なものがなく、息子の人としての成長の流れの中に極めて自然な形で受験があったということです。生徒の資質を伸ばすための機会が多く、質も高いように思います。**

入学してから留学期間を経て卒業まで、先生方の生徒に対する教育姿勢や生徒同士の雰囲気など、三者面談や文化祭などを通して垣間見るだけでも、息子の高校生活が充実していることがよく見て取れました。息子が国際大付属高校を選んでくれたこと、また、その思いに応じて余りある教育機会を与えてくださったことに感謝しております。





特進コース

Advanced Course

未来への道を拓くチカラを築く。

特進コースの特長

理系

質問中心のマンツーマン指導
「理数」を徹底的に強化

理・工・医学部などへの進学に向け、理科・数学の授業を強化。疑問点が解消するまで、時には基礎に戻り、マンツーマンで指導。丁寧な授業と、きめ細やかな問題演習の実践が、志望校への合格を勝ち取ります。

文系

答案の徹底的見直しによる
個別指導で「英国社」の実力アップ

人文・社会・語学系の学部への進学を目指して、文系科目の授業で実力養成をはかります。また、課題図書・小論文模試などを通じて、受験での小論文にも対応できる豊かで正確な表現力を身につけます。

大学探究講座

国立大学などから講師を招き、「大学の様々な魅力や最先端の研究を分かりやすく伝えること」をテーマに、年に10回程度実施しています。大学での学びの姿勢にふれることができ、生徒の探究心の向上につながります。



講師を招いての特別講座

意欲と継続が、力を伸ばす。

卒業生からのメッセージ

特進コース・理系
林 翔一郎
法政大学/情報科学部
呉羽中学校出身



国際高校に進学して良かったことは、他の高校に比べて圧倒的に国際的な交流の機会が多かったことです。私は英語が得意ではありませんでしたが、1年次のエンパワメントプログラムでオールイングリッシュのプロジェクトワークに取り組み、5日間の研修を通じて大きな成長を感じました。2年次の研修旅行では、初めての海外となるシンガポールを選択しました。異国の文化に触れ、驚きや発見が多く、貴重な体験となりました。また、weblio英会話ではオンラインで海外の人と対話し、密度の高い英語学習を進めることができました。留学生との交流も豊富で、貴重な出会いの機会を得ることができたと実感しています。

進路実現に向けては、2年次の4月から受験勉強を本格的に開始しました。まずは英語と数学に集中し、毎日少しずつ参考書を開いて問題を解き、基本的な解法を確実に理解することを心がけました。特に数学では、公式を覚えるだけでなく、高校数学の範囲で自力で導出できるものは自分で導出し、数学を本質的に理解して応用力を高めることができました。2年生の段階で数学と英語の基礎を固めていたため、3年次から本格的に取り組んだ物理の学習にも余裕を持って励むことができました。夏休み前には、数学と英語の基礎をほぼ完成させ、夏休み以降は理科の学習や共通テスト、大学の過去問題演習に多くの時間を費やしました。過去問題を解くことで出題傾向を把握し、時間配分や解答力を磨きました。問題を解いた後は自己分析を行い、間違えた問題や理解が不十分な部分を徹底的に復習しました。

こうした努力を重ね、私は希望する大学に合格することができました。これは、国際高校でのかけがえのない時間があったからこそ実現できたものだと感じています。皆さんも、自分の将来につながる様々な経験を、国際高校で積み重ねていってください。

特進コース・文系
飛鳥 慧子
国際基督教大学/教養学部
中田中学校出身



私の高校生活は、多くの壁にぶつかり、その度に悩みながらも前進し続けた3年間でした。「自分を変えたい」という強い気持ちで高校生活のスタートを切った私は、生徒会執行部や課外活動、検定取得に積極的に挑戦しました。しかし、自分の成長を実感できないこともあり、悔しさを感じる時期もありました。そんな私を支えてくれたのは、国際高校で出会った多くの人々でした。憧れの先輩や仲間、的確なアドバイスをくれる先生方に励まされ、自分の目指す姿に少しずつ近づけたと思います。

特に、生徒会執行部での活動は私にとってかけがえのない経験でした。アフターコロナの学校行事として、「人と協力する楽しさを皆で共有したい」という思いから新しい文化祭企画を立ち上げました。決定すべきことは多かったですが、同じ目標を持つ仲間と励まし合いながら進め、文化祭当日には学校中に笑顔が溢れ、達成感と喜びを感じました。この経験は受験期にも活かされました。

希望の進路を実現できたのも、やはり、周りの方々の励ましがあったからです。受験はチーム戦でした。苦しい時期もありましたが、周りの頑張る姿に刺激を受け、前進する勇気を持ち続けることができました。その結果、入学当初は夢でしかなかった「合格」を手にすることができました。合格を報告したとき、みんなが自分のことのように喜んでくれたことが本当に嬉しかったです。私も、共に戦ったクラスメイトの合格を知ったときは、心から嬉しく思いました。

国際高校で過ごした3年間は、いろんな思いが詰まった濃いものになりました。仲間と切磋琢磨しながら夢に向かって突き進める環境が整っているのが、この学校の魅力です。自分の思いに正直になり、皆さんも選んだ道で素晴らしい思い出を作ってください。

在校生からの声 国際高のおすすめ /



新湊中学校
出身

色々なチャレンジや、貴重な経験がたくさんできます。
部活に勉強など国際でenjoyしませんか!?

スキルやコースに関係なく国際交流できる
部活動と勉強の両立ができる



新湊中学校
出身

勉強は大切ですが、国際ではそれが全てではないので、
自分の頑張りをしっかりと認めてくれます。

大学入試では先生が手厚くサポートしてくれるのでおすすめです。

保護者からの声



R5年度卒業生 城岡奈津海
早稲田大学 社会科学部 社会科学学科/速星中学校出身
保護者 城岡 真さん

富山国際大学付属高校は生徒の主体性を重視し、育てていただける学校です。入学した時には、何もわからず、目標も特にきまっていない状況でしたが、**普段の行動から長所を見つけ出し、伸ばしてもらう事ができ大学に進む事が出来ました。その際の進路の相談についても、志望校の選定や対策などとても親身になって対応してもらえました。**また各種学校行事でも生徒たちの意見を重視して行われていると感じています。

授業の他に、模試や検定等もあり、本人も最初はその多さに驚いておりましたが、それも進路を考える上では必要な事であり、スキルアップへと繋がりました。そんな学生生活の中で、時には学校へ行きたくないと言う時もありましたが、卒業する頃には、「本当に富山国際大学付属高校に通って良かった」と言っていました。親としてみても、高校生活の3年間でとても充実し、成長する事ができた期間だったと思っています。





フロンティアコース

Frontier Course

なりたい自分が
きっとみつける環境がある。

フロンティアコースの特長

進路

併設校をはじめ、ほとんどの
生徒が大学・短期大学に進学

3年間を通じて行われる進路ガイダンスや担任の先生との面談によって、自分の進路・適性を見つけていきます。向学心をもって自分の将来に向き合えば、国公立大学や難関私立大学にもチャレンジしていくことができます。富山国際大学や富山短期大学への併設校進学も選択肢の一つとなります。

基礎強化

親身になってくれる先生の
きめ細やかな指導

学力に応じた細やかな授業で、苦手教科も克服。2年次からは理数系に力を入れた自然科学類型、英語重視のグローバル類型、人文・社会科学分野の学びを深める人文社会類型など、進路実現に向けたさらなる選択を行います。



弱点強化をしっかりサポート!

体験と発見が、 道を拓く。

卒業生からの メッセージ

フロンティアコース
人文社会類型
浦田 華怜
富山短期大学
経営情報学科
大泉中学校出身



私は国際高校で、目標を定め計画的に行動することの大切さを学ぶことができました。入学当初はどう勉強すれば良いのかわからず、定期テストではあまり良い点数が取れずにいました。しかし授業や定期テストを重ねていくにつれ、テストの出題傾向を理解し、テストに合わせた学習方法を見つけることができました。さらに定期テストを通じて普段からコツコツ勉強することの大切さに気づくことができました。そのおかげで復習や予習をするクセがつき、定期テストの点数が伸びるようになりました。

私は1年次には短期大学への進学を視野に入れており、合格するために日々勉強に取り組んだり、自分のできそうなボランティアを探し、積極的に参加したりと努力してきました。ただ定期テストの点数だけが全てではなく、普段の課題や提出物にしっかり取り組むという当たり前のことを当たり前にできるようになることも自分の身になると思います。

さらに私は部活動にも力をいれていました。部活動では同学年だけでなく、他学年の生徒や先生、さらに学校外の方と関わる機会が多くありました。普段あまり関わらない方と積極的に話すことで新たな考えに触れ、視野を広げることができました。勉強だけではなく、部活動やボランティアなどを積極的に行うことも充実した学校生活の一因になると思います。

この国際高校でみなさんが充実した学校生活を送れることを願っています。

様々な「学び」を通して、今まで気づかなかった自分を発見し、目的達成に向けて大きく前進できるコースです。

1年次は基礎学力の定着をテーマに、数学や英語などの科目をしっかりと実力UP。

2年次からは進路を見すえ専門分野にも挑戦し、夢の実現を目指して頑張るコースです。

フロンティアコース
グローバル類型
小澤 ひな
信州大学/教育学部
速星中学校出身



私は高校生活の3年間で、自分からチャレンジすることの大切さに気づきました。そしてその行動が自分の成長につながり、充実した高校生活になったと実感しています。

最初のチャレンジは1年次に、これまで経験したことのない生徒会活動に参加したことでした。入学当初は自分の将来の夢など全く決まっていませんでしたが、自分のためだけでなく人のために行動することの苦勞と達成感を味わい、その中で、自分の将来についても具体的に考えるようになりました。2年次には、自分の苦手な英語にチャレンジしてみたいという思いから、グローバル類型を選択しました。グローバル類型クラスでは、外国籍の友達や留学生との交流、英語の授業が増え、これまでよりずっと英語に触れる機会が多くなり、苦手だったはずの英語を次第に楽しく感じるようになっていきました。

また、研修旅行で初めて海外に行き、世界の広さを感じたことをきっかけに、高校生の自分にもできることはないかと、学校外での様々なボランティア活動に参加しました。そこでは自分の任された仕事に責任感を持つ大切さや、自分の起こす行動で生まれる人々の笑顔に喜びを感じました。

こうしたさまざまなチャレンジを通じて得た学びを活かし、大学受験に挑んだ際には、多くの先生方が相談に乗ってくださり、面接の練習やプレゼンテーションのアドバイスをくださったおかげで、無事に合格することができました。国際高校では、親身になって相談に乗ってくれる先輩や、自分の挑戦を後押しし、成長を見守りサポートしてくれる先生方が揃っています。また、たくさんのボランティア活動の機会があり、自分に合った活動に参加しやすく、進路選択の幅を広げることができます。

皆さんがこの国際高校で多くのことにチャレンジして成長し、充実した3年間を過ごせるように応援しています。

フロンティアコース
自然科学類型
丸山 琉太郎
富山県高岡看護専門学校
看護学科
大門中学校出身



私は高校3年間、明確な目標を原動力として努力し続けました。入学当初は目標が定まらず、なかなか勉強に意味を見出すことができない日々を過ごしていました。そこで、一つ一つの課題に目標を設定し、達成を意識しながら取り組むことにしました。初めは小さな目標を立て、できることから始めることで、少しずつ自分に合った勉強方法を見つけることができました。

また、所属していた弓道部では、自分のペースを崩さないようにスケジュールと目標を立て、向上心を持って努力しました。部活動と勉強の両立は大変でしたが、仲間と協力し合い、メリハリをつけて励むことができたのは、弓道で身につけた集中力のおかげだと感じています。

さらに学校外での活動にも積極的に参加しました。私が進路を決めたきっかけは、ボランティア活動の一環として行った老人ホームの方々とのオンライン交流です。この交流を通じて、日本の少子高齢化問題や介護士・看護師の人材不足を実感し、看護の道を志すようになりました。進路変更は三年生の夏ごろと急でしたが、友人の支えや先生方の小論文指導、試験勉強サポート、面接練習のおかげで、希望の進路に進むことができました。

このように、国際高校では部活動や学校内外の活動を通じて学び、視野が広がるとともに、新しい価値観に触れながら自分を成長させることができました。これから入学する皆さんも、高校で得た経験を活かし、友人とともに成長できる3年間を送ってください。

在校生からの声 国際高のおすすめ



全教室に2個のプロジェクトが設置されていて、授業がわかりやすい。給水機が設置されている。
富山大学教育学部附属中学校 出身



自由度が高く、のびのびと学校生活を送れます！
城山中学校 出身



国際高は校舎内が綺麗でコンビニがあります。食堂のご飯も安くて美味しいです。トイレには手を乾かす機械があり、各階ごとに給水機、教室は冷暖房完備で夏も冬も快適です。エレベーターやスロープもあるため、身体が不自由な方でも簡単に校舎内を移動できます。
南星中学校 出身





グローバルに活躍する人材を育成するための環境があります。

先進的な国際交流活動と国際理解教育の取り組みが評価され、文部科学省よりSEL-Hi(先進的英語教育法の研究開発指定校)の指定を受けて以来、英語授業と学校行事と国際化をからめた独自のプログラムの研究開発を行ってきました。富山県初のユネスコスクールに認定され、ESD(持続可能な発展のための教育)の理念に基づいた授業や課外活動を展開し、SDGs(持続可能な開発目標)の実現に貢献するグローバル人材の育成に努めています。

1.国際理解講座

年間10回程度実施。主に国際的な援助活動についての講演や、オールイングリッシュでのワークショップなどを実施し、国際的な視野を広げ、生きた英語を学ぶ機会を提供しています。

2.海外留学生受け入れ

毎年、短期・長期合わせて年間50名程度の留学生を受け入れています。ホストファミリー体験や交流を通じて異文化理解を深めるとともに、英語を使う機会を提供しています。

3.姉妹校・協力校との相互訪問とオンライン交流

世界6か国9校の姉妹校、3校の協力校との相互訪問やオンライン会議アプリを使った交流で、授業や課外活動で研究した成果の共有や獲得した英語力を試す機会を提供しています。

4.独自の海外研修

国際英語コースの1年生は、アメリカで2～3週間のホームステイをしながら語学研修をします。今年で平成4年の国際英語コース発足以来32回目を数えます。また、同コース2年生は韓国で2週間のイングリッシュ・キャンプに参加します。2年生の研修旅行は、滞在型・目的達成型で生徒がそれぞれの目的地を選択し事前研修を行います。令和6年度はシンガポール、フィリピン、関東、九州で実施し、136名の生徒が海外へ出かけました。

5.留学推進事業

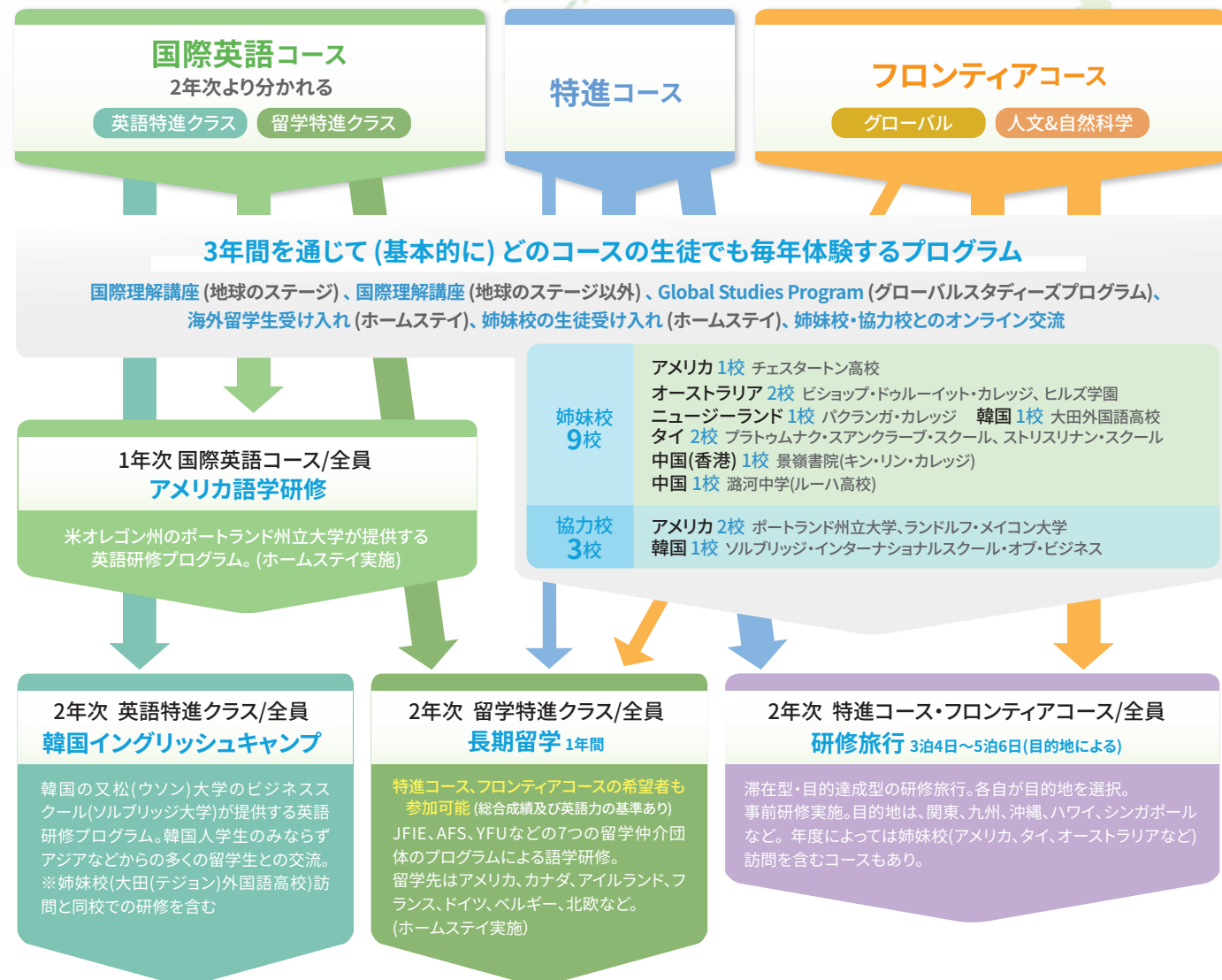
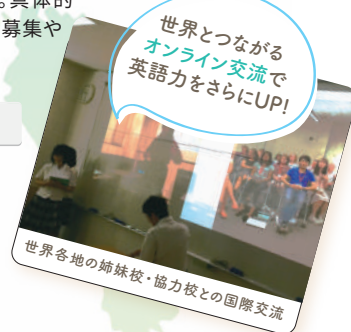
近年はアメリカ、カナダ、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランドなどの他、ドイツやフランス、スペイン、ハンガリー、オランダ、スウェーデン、フィンランドなどの非英語圏の国々にまで広がっており、1年間の長期留学を経験した生徒の総数は令和7年6月現在、396名にのぼります。現在までに受け入れた海外からの留学生の総数は688名以上、また、本校卒業後に海外の大学へ進学した生徒は73名に及んでいます。

6.グローバルセンター

平成23年度にランゲージセンターを設立し、平成27年度にグローバルセンターと改名。語学学習や国際交流を円滑にするため、専任の日本人・外国人スタッフが企画立案を行います。具体的には、国際理解講座、ホストファミリーの募集やサポート等を行っています。

2022-2024年 留学状況

アメリカ 15名	オランダ 1名
カナダ 43名	スペイン 3名
オーストラリア 5名	フィリピン 2名
ニュージーランド 3名	イタリア 1名
アイルランド 2名	チェコ 2名
フランス 1名	ポーランド 1名
ハンガリー 2名	合計 82名



国際交流実績

※下記の数字は令和6年度の実績です

多文化共生 14カ国の生徒が机を並べて学んでいます。様々な国からの留学生とともに過ごすことで、国際的な交流を身近に感じることができます。

姉妹校交流 国際高の姉妹校や協力校は世界各地に全12校もあります。交流も活発で、数多くの生徒が国境を越えて視野が広がる経験をしています。
●姉妹校での交流活動参加者 112名

留学の推奨海外研修 国際高は留学生の派遣や受け入れも積極的です。海外への研修旅行にもたくさんの生徒が参加し、かけがえない経験を積んでいます。
●長期留学生 16名

ニュージーランド姉妹校研修 ニュージーランドの姉妹校研修「パ克蘭ガ・カレッジ」を13名の生徒が訪問し、ホームステイで滞在しながら授業を受けました。

第31回アメリカ研修 国際英語コース1年生51名が参加し、ポートランド州立大学でのISPプログラムを受講しました。

第11回韓国研修 国際英語コース2年生32名が参加し、ソルブリッジ・インターナショナルスクール・オブ・ビジネスで英語トレーニング講座を受講しました。また、姉妹校の大田外国語高校を訪問し、異文化交流を行いました。

NZの姉妹校、パ克蘭ガ・カレッジが本校を訪問し、ホームステイにより滞在しました。

2025年4/15～4/22(8日間)



寿司握り体験では、富山湾のネタでお寿司を握りました。



生徒はみんなとても仲良くなれて、英会話も上達しました。



弓道部員が指導する弓道体験



1-Day Bus Trip で富山市や射水市を観光



留学生からのメッセージ

本校 >>> ドイツ
宮川 篤志
速星中学校出身



私はドイツ北部のハンブルクに住んでいます。ハンブルクは運河や湖、緑地が豊富で、水面と緑地が街の半分以上を占めているため、「水と緑の都」と呼ばれています。多くの人がウォーキングやサイクリングを楽しみ、自然に癒されています。私はここで「ギムナジウム・ブックホーン」という学校に通っています。ギムナジウムとは大学進学を目指す中等教育機関で、授業は80分と長めですが、生徒たちはとても積極的で、発表や質問が活発に行われています。日本のように全て時間割が決まっているわけではなく、いくつかの時間は自分で授業を選択することができます。先生はスライドを使い生徒に説明し、生徒はiPadを使ってノートを取るなど、ICTの活用も進んでいます。

ドイツは移民の多い国で、外国人向けの授業も整っており、私もドイツ語クラスに参加しています。休み時間にはパンを買ったり、昼休みに友達と名物のソーセージを食べに行くこともできます。放課後や週末はホストファミリーと料理をしたり、観光や買い物に出かけたりと、毎日が新しい発見の連続です。ドイツの文化や習慣に触れることで、自分自身の視野が広がり、日々新しい発見があるのを楽しんでいます。

言葉や文化の違いに戸惑うこともありますが、多くの友人や温かいホストファミリー、学校の先生の支えがあり、異文化の中で成長している実感があります。海外留学は、語学力だけでなく、自分の視野を大きく広げてくれる貴重な機会です。ぜひ皆さんにも、このような素晴らしい経験をしてほしいと心から思います。

オーストラリア >>> 本校
オークリー・ポール



私はオーストラリアからの交換留学生です。日本での生活はさまざまな面で素晴らしい経験となっています。中でも、富山国際大学付属高等学校での学校生活は、私の交換留学を素晴らしいものにしてくれている大きな要因の一つです。

私はこの学校がとても好きで、生徒も先生も皆とても親切です。英語を母語とする私にとって、日本語を学ぶ上で、周りに助けてくれる人がたくさんいるのはとても助かっています。

日本の学校の時間割は、授業の間に10分間の休み時間があるなど、とても過ごしやすくて感じています。また、国際生として、日本語のレベルに合った特別授業も用意されていて、学びやすい環境が整っています。

この学校では、英語を学んだり、英語コースの一環として海外へ行ったり、年末には沖縄や東京への旅行に参加したりと、たくさんのチャンスが与えられます。

今までの学校生活は本当に楽しく、これからの1年もとても楽しみにしています。(ポールさんの日本語原文のまま)

部活動

国際高は
部活も活発!

全国優勝が目標の部、全国大会出場が目標の部、みんなでワイワイ仲良く楽しくやりたい部、自己表現ができる部活動がそろっています。
(令和6年度実績)



バスケット
ボール
(男子)



バスケット
ボール
(女子)



テニス
(男子)

北信越大会
出場



テニス
(女子)

北信越大会
出場



弓道



サッカー
(男子)

富山県
3位



サッカー
(女子)



バドミントン
(女子)

インターハイ
出場



バレーボール
(女子)



卓球



柔道



野球



英語

全国高校生
英語ディベート
大会
出場



放送

全国高校
放送コンテスト
出場



美術



家庭



イラスト



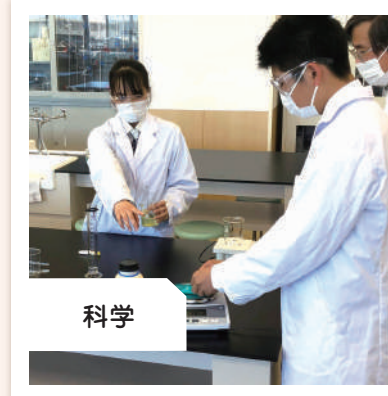
メディア・
テクノロジー

慶應義塾
大学にて
研究成果の
発表



新聞

県高校
新聞コンクール
36年連続
最優秀賞



科学



書道



吹奏楽



茶道



ユネスコ



水泳

全国JOC ジュニア
オリンピックカップ 1位
日本選手権 2位
インターハイ 3位



部活動

学校生活

School Life

笑顔いっぱいの、楽しい毎日が待ってるよ!

きれいな校舎の国際高を舞台にはじまる、きらきら輝くような日々。
笑ったり、泣いたり、汗を流したり、かけがえない友達との出会い、そして
自分の夢をみつけていく、そんな笑顔あふれる高校生活が君を待っています。

体育大会



4団編成で、競技・応援・デコレーション・衣装の
4部門で総合優勝をめざします。



全校生徒が熱く燃える!



海外留学先での学生生活は、一生のタカラモノ!

研修旅行



2年次に海外3コース、国内3コースの中から各自が行き先を
選択し、事前研修を積んで出かけます。また、ユネスコスクール
としてのフィールドリサーチを行います。

地球のステージ

海外か
国内か?
悩む~



国際医療支援活動を展開している桑山紀彦さん
の映像・スライド・弾き語りを織り交ぜたライブ音楽
を通じて、国際支援活動に関して学びます。

芸術鑑賞



真の国際人を目指すため、古典芸能や演劇
などを鑑賞し、豊かな感性を養います。

文化祭



ステージ発表やクラス展示などで、国際高全体で文化に親しみと同時に、
SDGsへの学びを深める国際高らしい1日を過ごします。みんなで楽しもう!



ステージ発表の演奏で、
美しい音色を響かせる吹奏楽部♪

最高に
楽しいよ!



屋台めぐりも楽しい!!

国際理解講座



NGO団体や海外ボランティアに参加された方への
体験などを聞き、グローバルな視野を広げます。



エントランスには留学状況がわかる世界地図があるよ



人工芝の雨天練習場は雨の日も快適!



なんと校内は外履きのままでOKなんです

きれいな
校舎も
自慢です



国際高校舎 GUIDE

Check!

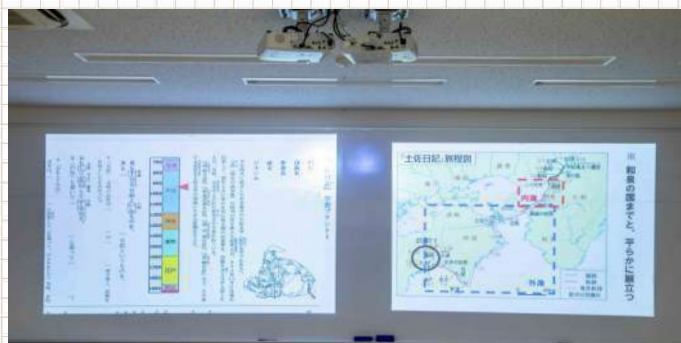
いつも明るい笑顔があふれている国際高。
晴れた日の教室の窓からは立山連峰の
素晴らしい眺めが望めます。
本校ならではの利便性とんだ快適な環境が、
楽しい高校生活をサポートします。



国内TOPクラスの充実したICT環境・設備

全教室に デュアルプロジェクターと ホワイトボードを完備

全生徒・全教員がiPadを所持している国際高
では、校内のすべての教室に2台のプロジェ
クターと、プロジェクター映像対応のホワイト
ボードが完備しています。プロジェクターを駆
使した課題発表の授業もスマートに。チョーク
を使わない新しい授業スタイルが国際高
のスタンダードです。



全教室にデュアルプロジェクターとプロジェクター投影対応ホワイトボードを設置

全館高速Wi-Fiで快適な通信環境

全校生徒約900名が同時接続可能な高速Wi-Fi環境で、
インターネットを使った授業もストレスフリーです。



校内に張り巡らされた無線LAN



エントランスと各フロアに各種連絡を
伝えるデジタルサイネージを設置



SDGsを自発的に実践

エントランスに設置されたSDGsパネルには本校の取組
目標が掲示されています。また、校舎内のあちこちにSDG
sシールが貼られ、生徒自ら日々意識し、実践しています。

多目的トイレには『すべての人に健康と福祉を』と
『安全な水とトイレを世界中に』のSDGsシール。



地球環境の保護につながるボトル給水機

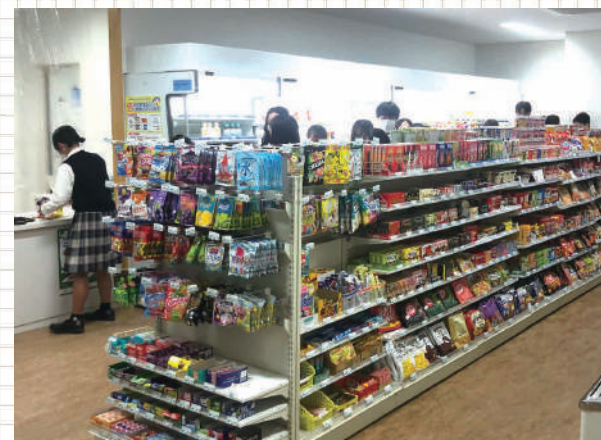
マイボトルに給水すると、給水回数がペットボトルの数で
表示される機能により、どれだけペットボトルの削減に寄
与できたかが一目でわかるようになっています。



全館洗浄機能・温水暖房便座付き洋式トイレ

校内のすべての水栓は、手をかざすと反応するセンサー
付きのタッチレスなので衛生面も安心して使えます。

プロの清掃会社による
週3回の
徹底清掃管理で
いつもキレイです!



学内にコンビニがあります

休み時間にも利用でき、文房具や昼食の購入もできるので
とても便利です。



400人収容可能な大きな食堂

ランチタイムは友達や上級生たちとも
楽しく過ごせます!

食堂のメニューは
食券で購入



「新聞大学への入り口」コーナー

全国紙3社、地方紙2社(計5社)の新聞や、英字
新聞を自由に読むことができます。新聞は大学に
匹敵する多様な知識と学びを与えてくれます。



アートギャラリー

エントランスホールや廊下には、絵画や彫
刻など多彩な作品を展示しています。アート
鑑賞で美的感性を磨こう!



各フロアに個人ロッカー

鍵付きの個人ロッカースペースは、
荷物が整頓できてスッキリ!



図書室



面談室

ゴミ箱でECO意識UP!

各教室にはゴミ箱がなく、各フロアに
一つだけ。ゴミを出さないことでエコに
配慮できるようになります。



グループ学習室



国際交流室



調理室

国際高の制服

女子生徒のスラックスも人気!
ネクタイも自由に選べます



冬服

夏服

廊下の壁面には
生徒の課題発表が
掲示されたりするよ

21世紀に必要なICTスキルを身につける。 最先端テクノロジーを使ったICT教育

国際高のICT教育は10年を越える実績があります。

POINT
01

高等学校DX加速化推進事業 (DXハイスクール) 「Regenerative Design High School」

本校は文部科学省のDXハイスクールに認定され、データサイエンス・人工知能・ロボティクスの3分野を中心に情報の授業で学び、新しい社会の構築を実践しています。SDGsやサステナビリティは、さまざまな環境資源の消費を抑制または禁止することで、未来への環境負荷を最小化しようとする試みです。これに対し「Regenerative Design」は、自然の回復能力を高め、再生能力を構築することを目標としています。「どのように自分たちで再生産(regenerative)できるか」へと転換し、理想の社会を主体的に構築しようとする考え方で、DXハイスクールの最大の目標は、この理念に沿って「テクノロジーを使って『未来をしかける』高校生」の育成を目指しています。

プロジェクト1

「Nature Positive」は、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、2050年までに自律的な回復軌道に乗せることを目指す国際的な枠組みです。これを実現するため、校舎屋上に農園を作り、野菜を育てながら生物多様性の向上に取り組みました。1メートル四方のポッドを設け、植物同士が相互に好影響を与えながら成長する協生農法を取り入れ、10種類以上の苗を密植して育成しました。また、各ポッドには小型コンピュータの Raspberry Pi を設置し、気温・湿度・土壌水分量などの環境データを収集してクラウドデータベースに逐次記録できるようにしました。インターネット通信には、人工衛星を利用するStarlinkを活用しました。さらに、アーム付きロボットを巡回させ、OpenCVで葉の面積を算出することで、生育状況を観察しました。ロボットを実際に見たことがない生徒も多かったため、ロボットとの共生社会を考える機会として、犬型ロボットaiboと自由に遊べる環境を校内に設け、生活の中でのロボットと人工知能のあり方を授業で検討しました。文明が自然とどのように融合していくべきかという問いに対しては、アイヌ民族の自然観にヒントを求め、代表生徒たちと国立アイヌ民族博物館を訪問し、そこで得た学びを屋上農園の運営に活かしました。

プロジェクト2

ヘルスケアプロジェクトでは、スマートフォンに記録された歩数データを持ち寄り、生徒自身および学年全体の歩数傾向をプログラミング言語Pythonで分析しました。さらに、慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科の小熊祐子先生をお招きし、WHOや国内の健康政策について学ぶ機会をいただきました。1年間の分析結果は、富山大学の「とやま探究フォーラム」と慶應義塾大学の「KEIO Sports SDGs シンポジウム 2025」において、代表生徒が研究発表を行いました。

令和7年度も前年度の取り組みに加えて、理想とする未来社会を描き、人工知能やロボットなどのテクノロジーを用いてどのように実現するかを逆算思考(バックキャスト)で考える授業を開始しています。特に今年度は、SF分野の小説・映画・漫画・アニメを題材に、テクノロジーで理想の未来を創造するための具体的な技術力を養成し、学校を「テクノロジー実装の実験場」としてさらに発展させていく計画です。

POINT
02

AIを活用したICT教育の 新たな可能性

人工知能やロボット、3Dプリンターなど人工知能を楽しく学べる授業や、犬型ロボットのaiboと一緒に遊んで人間とロボットの関係を考えたり、iPadで作ったデザインを出力できる3Dプリンターを設置するなど、未来の社会で必要なものを実体験しながら学べます。情報の授業では、2016年から人工知能の教育をスタートし、カメラに映った物をコンピュータが認識する物体認識や、歩行や運動などの姿勢から適切な姿勢がどうかを推定する姿勢推定など、様々な技術を実体験しながら人工知能の仕組みを学ぶことができました。また、2023年からは生成AIを使った授業も始まっています。

POINT
03

クラウドを早期導入して 勉強を活性化

2011年からクラウド化を開始し、全国の学校に先駆けてGoogle Workspaceを導入しました。生徒全員がEメールアドレスを持ち、インターネット越しに様々なサービスを使っています。他にもAdobe Expressを使ったクリエイティブな作品制作、PythonやRなどのプログラミング、データサイエンス、人工知能を学べる環境が整っています。また、学習記録やまた、学習記録や成績を確認できるClassiを活用し、担任や教科の先生とやりとりしながら、成績の向上と苦手の克服を実践しています。今後の大学入試に必要な活動報告書も生徒全員がすでに実践中です。



POINT
04

プログラミングやデータ分析など 21世紀型スキルで獲得した数々の実績

慶應義塾大学主催
「データビジネス創造コンテスト」
3回連続 最優秀賞

データ分析で問題を探り、テクノロジーを使った問題解決案を発表しました。東京大学や早稲田大学など、全国有名大学と競い合い、3回連続で最優秀賞を受賞しました。

慶應義塾大学大学院との
共同授業開発

情報Ⅰの授業では、慶應義塾大学大学院の研究室と「ヘルスケア×テクノロジー」をテーマに、生徒の歩数データを使った授業を展開しています。自分の歩数データを分析し、将来も健康で長生きするための行動変容、政策提言をまとめています。

同志社大学との移植医療に
関する共同研究

移植医療普及のためにテクノロジーを使って人々の関心を集め、臓器提供意思表示を促す活動を同志社大学と5年間連続で行ってきました。

POINT
05

人工知能から仮想現実まで 最先端テクノロジーを凝縮した情報室

最も新しいICT設備が、情報室に凝縮されています。アクティブラーニングを前提とした教室で、Surface Pro、Surface Studioを使ってプログラミング、データ分析を学んでいます。また、VR(仮想現実)やAR(拡張現実)、人工知能、3Dプリンター、IoTなど、最先端のテクノロジーを使って諸問題を深く探究できます。

POINT
06

基礎からしっかり学んで 思考と問題解決の道具にする

データ分析やプログラミング、iPadは、社会をより広く知り、より深く考えるための道具として考えています。自分の考えを世界に伝えるための道具にもなります。「iPad as a Language」(言語としてのiPad)というキャッチフレーズでこの理念を実現してきました。キーボードのタイピングやコンピュータの基本的な操作方法から勉強を開始し、応用的・実践的なツールとしてICTを学んでいきます。1年次の情報Ⅰではデータサイエンスやプログラミングなど、ICTを使った科学的な思考方法の修得を目指しています。



メディア・テクノロジー部 顧問
橋本先生に聞きました!



国際高から有名大学に進学した生徒の、ICT活用の秘訣とは?

A

ICTに強くなるコツは、**興味のある分野でコンピュータを使い、自分で作っていくこと**から始まります。絵が好きな人はコンピュータで描き、それをVRや3Dプリンターで使える3Dモデルにしてみましょう。数学が得意な人は、データ分析や人工知能に取り組んでみるのもいいかもしれません。コンピュータを使うことで、これまで出来なかったことが可能になり、自分の世界が広がります。こうして、好きなことが自分の研究テーマになります。

研究テーマをさらに深掘りしていくことで、高校卒業後のビジョンが明確になります。このビジョンが、志望校や大学での研究内容に繋がっていきます。まずはコンピュータを使って作ることから始めましょう。

メディアテクノロジー部卒業生のNEXT STAGE



メディア・テクノロジー部でダンス運動を活用したヘルスケアを研究してきました。中学校では運動部でしたが、高校ではコンピュータの面白さに気づき、**ダンスの動きを人工知能で分析して、健康に応用する研究を実践**しました。腕や脚など身体の部分を人工知能が推定して運動量を計算するプログラムを完成させ、TikTokやYouTubeで公開されているダンスがどれくらいの運動量なのか、どれくらいのカロリー消費なのか推定できるようになりました。**コンピュータが得意だったわけではありませんが、好きなことを実践していくなかで勉強し、大学の勉強会にも積極的に参加しました。**高校時代の研究テーマを大学でも引き続き学んでいます。

慶應義塾大学
環境情報学部 2年
蓮谷 藍さん



国際高でプログラムを学び
慶應義塾大学に入学
大学でも同じ研究テーマで
学んでいます!

国際高へのアクセス

地鉄路線バスには6つの国際高線や、コミュニティバスもあり、交通の利便性が高い国際高です。

地鉄路線バス

登下校時には、多くの生徒が利用しています。
●富山駅、小杉駅より 富山短大行き
●富山 - 高岡線 富山短大前 下車 徒歩3分

コミュニティバス

校庭まで乗り入れています。
●呉羽いきいきバス

本校の校庭にバス停があるので安心・安全！毎日の通学に便利です

県東部からの通学方法

魚津・黒部方面から あいの風とやま鉄道

魚津駅 7:32発 黒部駅 7:27発

呉羽駅でコミュニティバスまたは自転車に乗り換え

QRコードから時刻表と路線図をチェック！

① 南富山ルート

本郷町五区
本郷新
南富山駅前
富山南口
太郎丸1区
市民病院口
太郎丸口



④ 八尾ルート

八尾駅
保内小学校
千里駅前
国立富山病院口
羽根
下口
婦中保健福祉センター
落合橋詰
笹倉1区前



② 大沢野ルート

大沢野町行政センター前
田村町
上二杉
上大久保
上大久保六区
北陸電気工業前
法林寺口
栗山南口
栗山
安養寺
安養寺北口
恵王寺西
下熊野
小中



⑤ 東富山ルート

米田
米田
中田
中田北口
永久町口
加古町
岩瀬浜
岩瀬浜駅前
東岩瀬浜駅前
西宮町
千原崎
草島
草島小学校口
荒屋南



③ 杉原ルート

大杉
杉田
小泉定
広田南口
広田
野下
宮野小学校前
萩の島
堀中央
堀
黒野



⑥ 高岡ルート

新高岡駅
芳野
大野
井口本江
蓮花寺
大門総合会館前
大門中学校
橋下桑
小杉駅前



富山国際大学附属高校線 6ルート

- ① 南富山ルート
- ② 大沢野ルート
- ③ 杉原ルート
- ④ 八尾ルート
- ⑤ 東富山ルート
- ⑥ 高岡ルート

地鉄路線バスルート

- ⑦ 富山-高岡線

バスや電車の通学時間はちょっと勉強もできてオススメ！

※ルート、電車時刻は令和7年7月現在のものです

県西部からの通学方法

高岡・砺波方面から

あいの風とやま鉄道

高岡駅 8:01発

小杉駅で地鉄バスまたは自転車に乗り換え

JR城端線

砺波駅 7:28発

新高岡駅で国際高線バス直行

アクセスが便利だから各地区から通学できるよ！

国際高はここだよ！

登校は7:00台からの電車で間に合うよ！
※城端駅からは6時台

乗り換えなしで新高岡駅から直行バスで50分

国際高線高岡ルート

おはよう！

8:45 朝礼

午前の授業 (1~3限目)

午後の授業 (7限目)
例/
国際英語・特進 (週3回)
フロンティア (週2回)

人工芝の雨天練習場もあるんだよ

お昼休み

iPadは授業でフル活用！

午後の授業 (4~6限目)
例/数学・理科

17:30 下校

明日はどんな日になるかな

16:10~ 放課後

国際生の1日

【1日の時間割例】

8:15 登校
8:45 朝礼
午前の授業 (1~3限目)
11:45 お昼休み
午後の授業 (4~7限目)
16:10 終礼・部活動
下校

国際高の学園内併設校

本校生徒は両学とも **受験料 (30,000円)・入学金 (200,000円) が免除、併設校特別推薦枠の優遇制度** があります。

富山国際大学

国際化・情報化時代に即応し、富山県を支える人材の育成を目指して平成2年に開学。



現代社会学部

観光専攻・環境デザイン専攻・経営情報専攻・英語国際キャリア専攻の4つの専攻を通して、これからの社会が求める実践力と人間力を養います。

子ども育成学部

小学校教育、保育・幼児教育、社会福祉における高い専門性と基盤となる優れた人間性を養います。近年は毎年30名以上が小学校教育員に採用され活躍しています。

富山短期大学

県内初の私立高等教育機関として昭和38年に創立。全国有数の総合短大として発展。



経営情報学科

情報・経済・経営・会計などの専門分野における基礎教育をベースに、ビジネス実務教育、キャリア支援教育、インターンシップによる「三位一体のキャリア教育」によって就業力を育成します。

食物栄養学科

“一人ひとりが生涯健康に生きる”という願いに応えられる知識と技術を身につけた栄養士の養成を目標としています。

幼児教育学科

幅広い教養科目と各専門分野にわたる学習、幼稚園・保育所・その他の児童福祉施設などでの実習をとおして、豊かな人間性を備えた質の高い保育者の養成をめざしています。

健康福祉学科

人や社会とのつながり、健康と福祉、障害者や高齢者の生活を支える生活支援技術を学びます。介護福祉士等、人々の健康と幸せ・Well-beingに貢献する人材の育成をめざしています。